すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和８年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

◆開催日時及び参加者

日時	令和７年７月３日（木） 午後６時 00 分～
場所	江南市商工会館別館 １階　事務室
参加者	江南青年会議所役員（6 名）

プログラム

1	はじめに	5 分
2	すいとぴあ江南の今後について	10 分
3	座談会	45 分

◆すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考えなどを説明しました。

【今後の検討における市の考え】

〇すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足によりすべての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校、保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

〇すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し多くの人に親しまれる場所にしたい。

◆座談会

テーマ　「北部地域の将来の姿」

【キーワード】　・すいとぴあ江南の将来
・多くの人に親しまれる場所
・シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭に置いていただきながら、面積３ha ある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能について、ご意見を伺いました。

○座談会の様子

○意見（抜粋）

○宿泊施設について

・市内唯一の宿泊施設であるが、立地が利用しづらい。
また、他のビジネスホテルと比べると最終チェックイン時間が 22 時と早いので、改善できると利用者が増えるのではないか。

・改修して宿泊に力を入れると集客ができると思う。
会議室など、宿泊室にできるスペースはあるので、そこを活用して宿泊重視で人を呼べるのではないか。

・現状空き部屋がある場合は、レンタルスペースのような形で利用してもらうなど、宿泊に限らず、利用方法を工夫してはどうか。

・防災拠点としての考えもあるのでは。コンテナハウスの活用など。

○多目的ホールについて

・市内の Home＆nico ホールなどとは違い、固定された椅子等のない大きなホールがあるため重宝しており、残してほしい。

○展望台について

・どちらでもいいと思う。

・一宮にもあるので江南も売りにできないかと思うが、財政的に厳しいのは理解する。

〇その他
・周辺にあるものではなく、他にない、ここにしかないものを伸ばした方が良い。
・何か一つ主軸をきめて他にはない強みを作る必要がある。
・レストランではなく、キッチンカーなど軽く食べられるものがあると良い。

◆まとめ

青年会議所の方々から意見を伺いましたが、現在の施設の活用の視点から、賑わいの創出の方法についてなど、様々な意見をいただきました。

また、周辺にあるものではなく、「他と差別化を図ることによって賑わいが生まれるのではないか」という視点からも多くの意見をいただきました。

今後の検討においても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんの意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。